

製品安全データシート

作成日：2011年9月 5日

改訂日：2022年3月29日

製品名： LBCプレップ2(サイトコレクト液)

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : LBCプレップ2(サイトコレクト液)
会社名 : 武藤化学株式会社
住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷2-10-7
担当部門 : 学術部
電話番号 : 03-3814-5511
FAX番号 : 03-3815-4832

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2A

急性毒性 : 経口 : 区分5

生殖毒性 : 区分1B

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
区分3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分1(中枢神経系、視覚器)

シンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
飲み込むと有害のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ

長期又は反復暴露による臓器の障害(中枢神経系、視覚器)

注意書き : 取扱い作業場所には、局所排気装置を設ける。
容器から出し入れするときは、こぼれないようにする。
皮膚にふれないようにする。
必要に応じ防毒マスク又は送気マスク、保護手袋等を着用してする。
取扱い後は、手洗いを十分行う。
一定の場所を定めて貯蔵する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合製品

成分表 :	メタノール	水	緩衝剤	ホルムアルデヒド
含有量 :	30%	68.91%	1%	0.09%
化学式 :	CH ₃ OH			CH ₂ O
CAS No. :	67-56-1			50-00-0
(化審法) :	(2)-201			(2)-482

4, 応急措置

眼に入った場合 : 数分間多量の水で洗い流す。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服や靴を脱がせる。
多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。
医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 新鮮な場所に移し、安静、保温する。
医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ吐かせ、医師の診断を受ける。

5, 火災時の措置

消火方法 : 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合は散水して冷却する。
容器が火災に包まれた場合、爆発の恐れがあるので近づかない。
着火したときは、多量の水、粉末、二酸化炭素、粉(アルコール用)を用いて消化。
消防作業は必ず防護服を着用。爆発の恐れのあるときには付近の住民を退避させる。

消火剤 : 水、粉末、二酸化炭素、泡(アルコール用)

6, 漏出時の措置 : 警戒筒先を配備する。
蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。
大量の流出は、土砂等で流出拡大防止を図り回収する。
少量の流出は、大量の水で希釈洗浄する。
危険区域から立ち退く。

7, 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 裸火禁止、火花禁止。
酸化剤との接触禁止。
換気。
防爆型の電気装置と照明を使用。
防爆用工具を使用。
作業中は飲食、喫煙をしない。
- 保管 : 耐火構造。
強酸化剤から離しておく。
冷所、密栓

8, 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 200ppm (メタノール)
0.1ppm(ホルムアルデヒド)
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会(2005年版) 200ppm(260mg/m³) (メタノール)
0.5ppm(ホルムアルデヒド)
ACGIH(2005年版)TWA 200ppm STEL 250ppm (メタノール)
0.3ppm (ホルムアルデヒド)
- 設備対策 : 火気厳禁の措置をとる。
局所排気装置を設置する。
洗眼、身体洗浄設備を設置する。
- 保護具 : 呼吸用保護具、有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡／手袋／衣。

9, 物理的及び化学的性質

- 外観 : 無色可燃性液体
- 沸点 : 64.7℃ (メタノールとして)
- 蒸気圧 : 12.3kPa (20℃) (メタノールとして)
- 融点 : -96℃ (メタノールとして)
- 比重又は嵩比重 : 0.7928 (20℃) (メタノールとして)
- 引火点 : 11℃ (メタノールとして)
- 発火点 : 385℃ (メタノールとして)
- 爆発範囲 : 6～35.6vol% (空气中) (メタノールとして)
- 溶解性 : 水、アルコール類、エーテルに溶ける。

10, 安定性及び反応性

- 安全性 : 通常の手扱い条件下では安定である。
- 反応性 : 蒸気は、空気と爆発混合物を生成するおそれがある。

- 加熱・燃焼 : 危険性有
 加熱により引火又は発火することがある。
 加熱により容器が爆発する。
 加熱すると分解し、一酸化炭素、ホルムアルデヒドを生じる。
- 混触等 : 危険性有
 過塩素酸、過マンガン酸等の酸化剤と接すると爆発することがある。
 過酸化水素と混触したものは、衝撃により爆発する。
 酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
 鉛、アルミニウムを侵す。

11. 有害性情報

急性毒性 :

- 経口 : LD50 (oral/rat) : 5628mg/kg (IUCLID) メタノール
 LDLo (oral/human) : 143mg/kg (RTECS) メタノール
 LD50 (oral/rat) : 600mg/kg (ホルムアルデヒド)
 吸収される、吐き気、嘔吐をおこす。
- 吸入 : LC50 (inh./rat) : 85.26mg/l (4H) (IUCLID) メタノール
 LC50 (inh./rat) : 480ppm (ホルムアルデヒド)
 吸収される、呼吸器官を刺激する。
- 経皮 : LD50 (dermal/rabbit) : ca. 17100mg/kg メタノール
 LD50 (dermal/rabbit) : 270mg/kg (ホルムアルデヒド)
 吸収される。
- 皮膚刺激性 : 皮膚の乾燥、発赤。
- 眼刺激性 : 眼を刺激するおそれがある。
- 感作性 : データなし
- 発がん性 : データなし
- 生殖細胞変異原性 : マウス赤血球を用いた小核試験で陰性の結果がある。
- 生殖毒性 : データなし
- 特定標的臓器毒性-単回暴露 : 臓器に障害をおこすおそれがある。
- 特定標的臓器毒性-反復暴露 : データなし
- 吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : 甲殻類 プラインシュリンプ LC50 900.73mg/l/24H
- 水生環境慢性有害性 : 難水溶性でなく (水溶解性=1.00×10⁶mg/l)、急性毒性が低い

13, 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規及び市区町村条例に従い産業廃棄物として廃棄。

容器包装 : 空容器に残余物がないようにし関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄。

14, 輸送上の注意

海洋汚染物質 : 非該当

特別安全対策 : 漏洩及び火気に十分注意し慎重に運搬する。
直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込む。
荷崩れの防止を確実にを行う。

15, 適用法令

消防法 : 非該当

毒劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
第57条 表示対象物質 メタノール
名称等を表示すべき有害物 (施行令第18条)
メタノール
有機溶剤予防規則 第二種 メタノール

16, その他の情報

化学品安全管理データブック 化学工業日報社

製品評価技術基盤機構 GHS分類

化学物質評価研究機構 化学物質ハザードデータ集

化学物質規制・管理実務便覧 新日本法規

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有毒性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。